

当会会員の国策機工（株）（苫小牧市）が、
平成29年5月23日(火)付の、日刊工業新聞に紹介されました。

北海の雄

国策機工は、北海道で機械設備の設計からメンテナンスまで一貫して手がける企業として存在感を示す。日本製紙グループとして、日本製紙の道内拠点で設備のメンテナンスを担う一方、技術力を生かして新たな事業やサービスにも取り組む。グループ内の仕事だけでなく「外貨」を稼ぐ姿勢を強化している。

1965年、北海道旭川市で旭川機工として設立したのが始まりで、68年に国策機工へ改称。72年に需要を見込んで、同苫小牧市に本社を移転した。現在、本社の機械設備事業部が公共工事や民間工事関連を手がけており、旭川、勇払、白老の各事業部が日本製紙の

成長企業チカラの源泉
力

国策機工

設計—メンテ—貫体制

率を半々にまで持つていきたい」と意気込む。長谷川は「設計から製作、施工、メンテナンスまで一貫してできるのが当社の強み」と強調する。豊富な技術者数も特徴だ。全社で9人が設計を担当するほか、

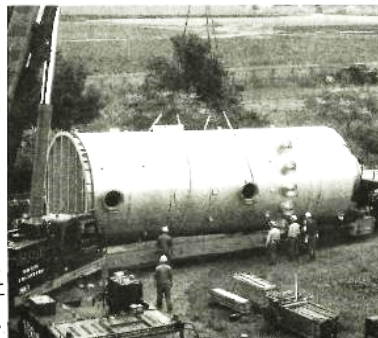
地元に貢献

新たな取り組みの一つとして、道央産業振興財団（北海道苫小牧市）からの打診がきっかけとなり、故障の予防保全に向けて機械設備の振動測定を手がけている。機械が壊れ



社長 長谷川 敬氏

る前に兆候を見つけ、対応することで、地元中小モノロスや修理コストなどの削減につながる。14年夏から独ノルテイングの木質バイオマスボイラの販売も始めた。環境に優しく、長期的には燃料代を



国策機工が手がけた洗浄塔

考慮すると割安になるほか、メンテナンスも手がける点を訴求する。16年に1台を販売し、実績を生かす営業活動を展開する。今後はバイオガスプラントの製缶なども伸ばしていく考え。16年3月に子会社化した道路標識製造の国策共栄（旭川市）と連携した事業も見据える。技術力を生かした独自の取り組みを進め、新たなステージを踏みしめていく。

（敬称略、札幌支局・山岸 渉）

【企業プロフィール】

- ▽住所 北海道苫小牧市字勇払149
- ▽社長 長谷川 敬氏
- ▽設立 65年（昭40）
- ▽売上高 45億9000万円（17年3月期）

（火曜日掲載）

技術力で親会社依存脱却